

令和5年度 学校関係者評価委員会

令和5年度 教育課程編成委員会

## 会議録（第1回）

出席者 8名（委員5名、職員3名）  
期 日 令和5年6月30日（金曜日）  
時 間 午後5時から6時20分  
場 所 加治木看護専門学校 本校3階 多目的ホール

※会議資料 別添

- 1 開会のことば
- 2 委嘱状 交付（送付済み）
- 3 学校長あいさつ  
資料確認
- 4 職員 自己紹介
- 5 学校関係者委員 挨拶
- 6 協 議 委員長：校長（規程 第4条により）協議に移る  
議長選出：事前承諾により 渡辺委員へ依頼済み

### 議案1 学校関係者委員会 <会議録から学校長による資料説明>

- 1) 本校の現状把握（教育活動全般・広報活動など） 資料⑧⑨⑮⑯ 参照
  - ⑧令和5年度 事業計画表
  - ⑨令和5年度 運営方針
  - ⑮学生便覧
  - ⑯R5版 パンフレット OCチラシ等

#### 校長より資料説明

昨年、協議の中で話題になりました「学校満足度を如何にして向上させるか？」  
につきまして今年度は具体的な対策ができればと考えております。

また、今年度入学生（31期生）の入学者数は29名。実際の合格者は受験者数39名  
と同じの39名でした。がしかし、辞退者が10名あり、特に4年制大学に看護学科  
が新設された影響は大きいものがありました。また、男子学生7名、社会人4名と  
いう状況です。

2) 自己評価及び各種アンケート結果からの検証 資料⑩ 参照

新入生アンケートをご参照ください。

今月初めに岩重委員が、授業中に採られたアンケートもお借りして参考までに添付させていただきました。1.「学校を選んだ理由」、2.「学校への要望」に対して回答の中から問題提起と所見を頂くことにしました。

岩重先生、お願いいたします。

司会：岩重先生、どうぞ。

岩重委員：まず、1. 学校を選んだ理由 として上位4つ

自由に書いてもらいましたので、オープンキャンパス、自宅が近い、評判、チューター制中で「チューター制」という回答があり、私自身が理解できていないワードでした。

松元主任：「チューター制」につきまして説明いたしますと、最近は取り組んでいる学校が少しずつ増えてきましたが、学年別クラスとは違って各学年数名ずつがグループを形成して一人の教員が担当するものです。学生たちが強みに思っていることは、先輩に自分の技術を見てもらえる、その後指導を頂くこと。現在教員が8名ですので8グループが存在している。また、教員も学生に対して個別に生活・学業に関わることができですが、教員の関りはあまり魅力ではなく、上級の先輩からの情報入手やアドバイスをもらえるところが「強み」として捉えています。試験や演習等について質問するなど交流を行っています。ここが魅力でしょうか。

校長：高校生への説明・ガイダンス等では小グループの＜部活動＞のようなイメージを創ってもらっています。

司会：それでは、議案2の説明をお願いいたします。

## 議案2 教育課程編成委員会

1) 新教育課程 2年目の概要説明 参考資料 ⑪⑫

松元主任：まずは⑪国に申請した＜進度表＞をご覧ください。

2年目の今年、様々な新しい授業が始まっています。ただ、教員の負担感が増していることも事実です。授業準備とか学生への理解を促すための方策に苦慮しています。教員の入れ替わりもありましたので今後、検討事項でもあります。

⑫2022年度(28期生)のカリキュラム評価としては、教育目標達成度表にありますように卒業時での数値として全体的には達成度は上がっているようです。また、教育目標の推移(学生・教員)のグラフから分析しますと学生と教員のズレが小さくなって目標値が一致していることがお判りいただけると思います。

GPCの数値につきましては、専門基礎分野においてポイントが低かったですが、少人数クラスであったことで団結力が高く、最後まで諦めないという気持ちのある学生がクラスを牽引してチーム力のある状況が見られました。卒業時の実践力については、コロナ禍で実習に行けなかった影響があるようです。

社会人基礎力については、「前に踏み出す力」「考え抜く力」は昨年よりも高いですが、「自ら働きかける力」とか「創造力」は低い値になっています。

司会：協議1，2共通で質問をお受けいたします。

岩重委員：協議1の現状報告の中で「1年生の様子が気になる」との発言がありましたが、もう少し詳しく聞かせて頂きたい。

松元主任：発言力のある学生の＜立ち居振る舞い＞が「雑」と言いますか、「品がない」と言いますか？そんな感じですか。先ほどのチューターチェックを依頼しておきながら、時間になっても集まらない、動き出さない、そんな姿を見かけてたまらず、注意した次第です。授業前の準備に関しても完璧にできない状況もあります。

司会：今年の1年生は私から見る限り、積極的な学生が多く、授業はやりやすい感じがあります。行動面で＜役割の認識不足＞等があるかと思いますが、チューター制の良い点として3年生が注意してくれる所が出ている気がします。学年が上がるにつれて「ああいう先輩にならなきゃいけない」という意識をもってくれることも育っているのではないかと思います。

早瀬委員：チューター制はとてもすばらしい特徴だと思いました。先ほどその場面で3年生は「何と」注意したのでしょうか？

松元主任：3年生もなかなか言えていないと思います。3年ほど前まではきちんといえる学生がいました。が、コロナ禍でチューターチェックも中止せざるを得なくなり、指導する側になった今の3年生は、指導をまともに受けていない学年であることから、伝統が上手く引き継がれずに今に至っている状況です。したがって、私たち教員が指導を加えて強化していくべき場面と捉えています。上級生から厳しく指導されるというチューター制の良いところを引き継いで行く必要があります。

早瀬委員：指導する側もされる側も根気強く行うべきで、それは現場に出た際には当然ありうることで、相互の良い関係を築くために大切だし、今後期待すべき点だと思います。

もう1点、このパンフレット等は高校以外にはどこに置かれているのでしょうか？

校長：各高校の進路室、進路ガイダンスに参加した高校生全員、数年前からは実習先病院等で＜看護体験の日＞前後におかせて頂いています。

司会：冒頭、話題になりました「学校満足度の向上を目指して」につきましても、アンケートでも記されていますように＜口コミ＞で伝わっていくことも大きな効果があるのではないかと考えます。

司会：議案 3 に移らせていただきます。説明をお願いします。

校長：⑰「教育訓練給付制度」につきまして現在、申請中です。1次審査通過しまして厚労省の本審査結果待ちでございます。

通過いたしますと10月には、事業スタートということで広告配信予定でございます。

⑱南日本新聞社によります「ういきりっく」と「フェリア」の取材を受けておりまして来月7/13, 7/15に発行予定です。

三島委員：先ほどの「学校満足度」の問題に関しましても徐々に解決していくのではないのでしょうか？やはり、コロナの影響は大きかったとは思いますが。授業している3年生の印象は当初、若干硬いかな？とも思いましたが、色々なことがあり、時間がかかるとは思いますが、複雑に絡み合いながら解かれていくのではと思います。学生からは「実習は楽しい」という発言がありましたので、更に「何が楽しい？」と尋ねますと「記録は大変だけど「人」と話ができるから」「話することでやりがいを感じます（モチベーションがUPしてくる）」ちょっとずつですけど変化しつつあるのではと感じています。満足度においても、もう少し長い目で観ていくことが必要な気がします。できることや可能なことが増えてくると安心感が戻り、笑顔も増えるのではないかと思います。その時、背中をそっと押して上げることが私たちの務めかと思えます。自分の困っていることや楽しいことを何でも話せる「人」であってほしいし、学校はその良さを上手く発信して、近くの高校生や社会人に理解してもらい、学生確保につないでほしいと思えます。

岩重委員：私も現1年生は授業はやりやすいと感じています。変化していく可能性も持っていると思えます。

松元主任：学習面や提出物等での不安よりも生活状況の方が課題を感じています。

司会：「ういきりっく」「フェリア」の効果はあるのではないかと思います。直接、高校生に配付される情報誌なので強力な後押しになるのではないかなと思います。

時間が押しておりますが、議案4に入ります。

校長：今後のスケジュールをご確認ください。

司会：議案1～4すべての承認をお願いいたします。

以上で協議終了いたします。

### <まとめ>

今年度 第1回目の合同会議であった。

新委員 2年目の方々には、自己点検自己評価の結果をもとに、年間の活動目標の成果と、学校運営等についての改善を図るための具体的な取り組みを評価していただいた。

昨年度の継続課題として「学校満足度の向上に向けて」を継続テーマとして掲げ、学生募集やこれからのオープンキャンパス参加状況の分析を行い、昨年度との比較をすることで対策例を掘り下げていくことを期待している。また、新カリ 2年目で新たに発生してきた課題解決に向けた取り組みや評価方法の策定も見えてきた気がする。

令和4年度の学校運営内容については、各評価項目とも大きな教育的課題の指摘は見られなかった。委員の皆様からいただいたご意見は、大変貴重なものであり、改善点や成果等を更に継続して分析し、今後の学校運営に活かしていきたいと考える。

ご協力ありがとうございました。